

病虫害発生予察情報

令和4年6月30日

病虫害発生予察情報（飛騨地域） 7月予報

早い梅雨明け発表となりましたが、各種害虫が増加傾向となっています。例年とは違った病虫害の発生となる可能性がありますので、よく観察し、早期発見・早期防除にこころがけましょう。

【水 稲】斑点米カメムシ類が、畦畔等で増加している（次ページ参照）ため、草刈りの実施や薬剤による適期防除に努めましょう。

【果 樹】予察灯へのカメムシ類の誘殺が6月下旬からあり、夜温が高くなると果樹園への飛来も多くなるので、見回りを実施しましょう。
りんごの斑点落葉病、もものせん孔細菌病等の発生している園では、被害の拡大に注意しましょう。

【野 菜】トマトのアザミウマ類による白ぶくれ果の発生が一部で多くみられます。また、灰色かび病が増加する要因となる葉先枯れ症状も増加しているので、薬剤のみでなくほ場の衛生管理等耕種的防除にも取り組みましょう。

○主な病虫害の発生状況及び今後の予測（7月）

水	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 半月	2 半月	3 半月	4 半月	5 半月	6 半月	
稲	葉いもち	並	＜発生最盛期＞						葉いもち 例年、発生しやすい地域では注意する。
	紋枯病	やや多	＜初発生＞						
	セジロウンカ	並	＜成虫初飛来＞			＜第1世代幼虫＞			紋枯病 高温予想もあるため、常発地では被害が多くなる場合があるで、予防に務める。 斑点米カメムシ類 一斉草刈り実施期間(7/10~20)に草刈りを実施し、すみかをなくす。
	斑点米カメムシ類	やや多	＜畦畔雑草に発生(7月~)＞						
	防除適期		▲←	葉いもち(初発前)		→▲			
果樹	カメムシ類	並	＜越冬世代成虫・新世代成虫＞						カメムシ類 夜温も高くなり、今後は、徐々に果樹園への飛来が多くなる。
	シンクイムシ類	やや少	＜幼虫最盛期＞						
	斑点落葉病(りんご)	並	＜感染拡大期＞						斑点落葉病 盛夏の乾燥期は一時停滞するが、秋に雨が多いと再び進展する可能性がある。
	防除適期		▲←	カメムシ類(果樹園飛来時)		→▲			
			▲←	シンクイムシ類(防除) ▲					
ホウレンソウ	べと病	少	＜発病適期(長雨時)＞						タネバエ 被害が発生してからでは、手遅れとなるので、播種時に粒剤を施用する。
	タネバエ	やや多	＜連続発生＞						
	防除適期		▲←	タネバエ(播種時)		→▲			
トマト	灰色かび病	並	＜発生盛期＞						灰色かび病 花がらや葉先枯れは速やかに除去する。
	葉かび、すすかび病	並	＜初発生＞						
	アザミウマ類	やや多	＜連続発生＞						アザミウマ類 周辺雑草の除去をする。特に7月中の被害が多い。
	防除適期		▲←	灰色かび病(ローテーション防除)		→▲			
			▲←	アザミウマ類(ローテーション防除)		→▲			
野菜類	コナガ	少	＜連続発生＞						コナガ 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系
	アブラムシ類	並~やや多	＜連続発生＞						
	タバコガ類	並	＜連続発生＞						アブラムシ類 高温乾燥が続くと多発する。 タバコガ類 防虫ネットで被覆する。ナス等の露地栽培は、発生初期に防除を実施する。
	防除適期		▲←	コナガ(ローテーション防除)		→▲			
			▲←	アブラムシ類(発生初期)		→▲			
		▲←	タバコガ類(発生初期)		→▲				

注) ▲、▲←→▲：防除適期

調査データ ほか

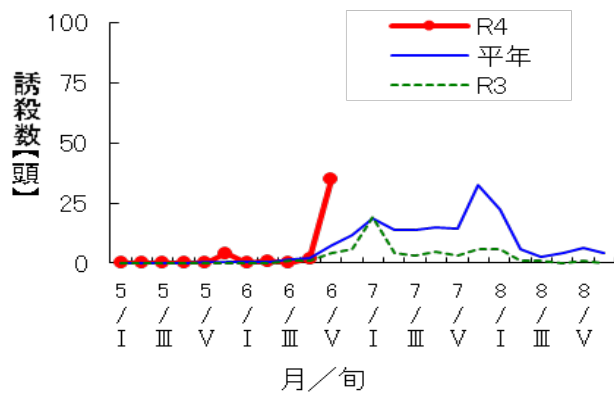


図1 予察灯によるアカヒゲホソドリカスミカメ誘殺数の推移 (下呂市萩原町)

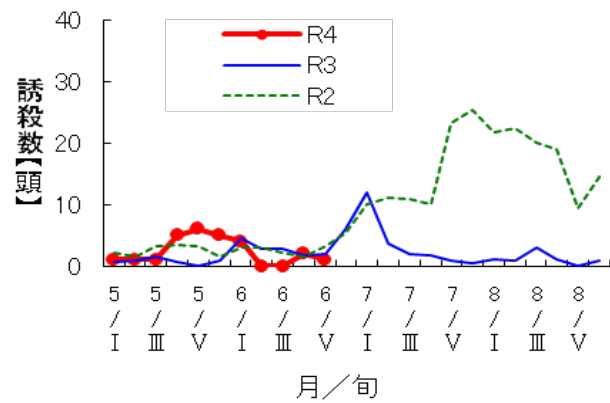


図2 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移 (飛騨市古川町)

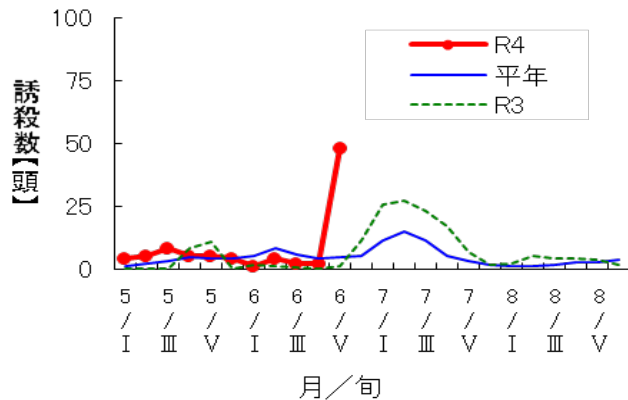


図3 誘引剤によるタネバエ誘殺数の推移 (飛騨市古川町)

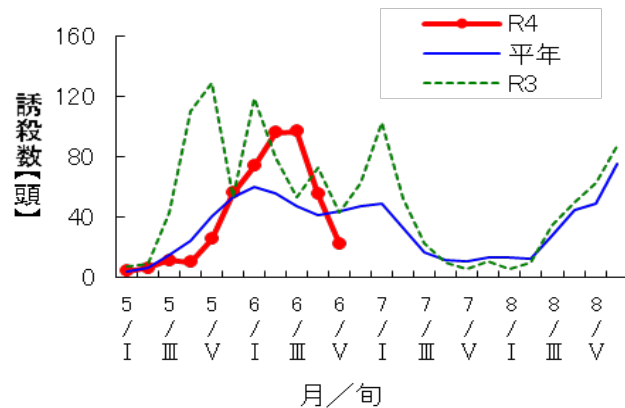


図4 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (高山市下林町)

BLASTAMによるいもち病発病条件

	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29
高山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河合	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
荘川六廐	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-
白川	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	●	-
萩原	-	-	●	-	●	●	-	-	-	-	-	-
金山	-	-	-	-	●	-	-	-	●	-	-	-
下呂宮地	-	-	●	-	-	◎	-	-	-	-	-	-

好適条件出現初発日

	R4	R3	R2
高山	-	6/19	6/26
神岡	-	6/17	6/19
河合	6/26	7/1	6/13
荘川六廐	-	7/7	7/22
白川	6/23	7/11	6/26
萩原	6/20	7/1	6/26
金山	6/22	6/16	6/14
下呂宮地	6/20	6/29	6/19

斑点米カメムシ類すくいとり調査結果 (20回振 6/28調査)

◆萩原町 水田隣接牧草地

- ・アカヒゲホソドリカスミカメ22
- ・アサスジカスミカメ3
- ・フタトゲムギカスミカメ8
- ・アカヒメヘリカメムシ2
- ・プチヒゲカメムシ2
- ・ホソハリカメムシ1

6種 38頭

◆国府町 水田畦畔

- ・アカヒゲホソドリカスミカメ9
- ・アサスジカスミカメ1

2種 10頭

- 凡例 △：準好適条件 (湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満)
 ▲：準好適条件 (湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上)
 ○：準好適条件 (湿潤時間10時間以上だが、湿潤期間の平均気温は15~25℃の範囲外)
 ◎：準好適条件 (湿潤期間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い)
 ●：好適条件 (いもち病発生の好適条件がすべての条件が満たされた)
 -：好適条件、準好適条件は満たされなかった

いもち病の発生が多かったR3,R2と同じような時期に好適条件が出現している

6~8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報 (名古屋地方気象台 6月30日発表)

向こう1か月の気温は高いでしょう。降水量は、平年並か少なく、日照時間は多い見込みです。期間の前半は、曇りや雨の日が少なく、後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。(トップページQRコード→)

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2934.html>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468



トップページ



BLASTAM (いもち病情報)